

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達 人 名	小栗 成子 先生（ 国際理解の達人 ）	所属	中部大学
実 施 校	一宮市立今伊勢西小学校		
実 施 日	平成22年2月24日（水曜日）		
実施学年・学級	3年1・2・3組（109人）		
教 科 等 名	総合的な学習の時間	単元・題材名	世界の国となかよし
授 業 の 目 標	身近な品物の歴史を知ることや、世界の国旗を見てわかることなどを通じて、自分と世界とのつながりを感じさせる。そして、日本と関係の深い国の紹介ポスターを作る作業を通じてその国に親しみを持たせる。		
授業の実際	1 身近な物の起源を考えるクイズに答える。(達人) 例：傘、チョコレート、猫など。 2 国旗の国名当てクイズに答える。(達人) - 色や紋章についての意識化 3 班別活動(28班) 世界の28か国についてどんな国かを調べる。(達人・教師) - 各班1か国を担当 - 達人から情報もらってB紙に新聞のようにまとめる。		
児童生徒の感想	- はじめてのクイズが楽しかった。 - 世界のいろいろな国の名前や国旗をおぼえることができた。 - 今まで知らなかったことがたくさんあって勉強になった。 - 達人の先生がわかりやすく説明してくれてよかった。 - もっと知りたいと思うことがあったので、インターネットで調べたくなった。 - 助手の先生（学生）が親切で、給食も一緒に食べられて楽しかった。 - 達人の先生は、世界中の国のことを知っていてすごいと思った。 - 班の友達といろいろ考えながら新聞をつくるのは、とても楽しかった。 4時間は長いなあと思ったけど、すぐ時間が終わってしまった。		
教師の感想	3年生には難しい内容に思えたが、あくまでもゲーム感覚で学習したので堅苦しさは感じなかったようだ。ほぼ全員が楽しく学べたという感想をもてた。		

